

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は、「2026年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」および「競技会における広告および展示物に関する規定」ならびに本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。なお、本競技会はWRK対象競技会とする。ただし、リレー種目はWRK対象競技会としない。

2. 招集について

①招集所は第3ゲート内に設置する。

②各競技の招集開始時刻および完了時刻は、以下のとおりとする。（競技開始時刻を基準とする。）

トラック 予選・TR決勝									トラック決勝	
100m・200m・400m			800m・110mH・100mH 400mH			1500m				
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了	開始	完了
1～3	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前	25分前	15分前
			4	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前		

フィールド			
跳躍競技		投てき競技	
開 始	完 了	開 始	完 了
50分前	40分前	50分前	40分前

③競技者は招集完了時刻までに招集所で競技者係の点検を受けること。その際、アスリートビブス、シューズ、スパイクの寸法と数、衣類やバッグ等の商標の確認を受けること。

④ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話およびこれに類似する機器など、承認されていないものは招集所・競技エリア内への持ち込みを禁止する。これらを持ち込んでいる場合、助力と見なされる場合がある。

⑤代理人による招集は認めない。ただし、2種目以上に同時に出場する競技者は、「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、最初の種目の招集完了時刻までに、本人が招集所へ提出すること。この際、2種目目以降で使用する競技用靴、アスリートビブスおよび腰ナンバー標識の確認を受けること。

⑥招集完了時刻に招集所にいない競技者は、当該種目への参加から除外され、欠場（DNS）として記録される。

⑦欠場する場合は、V-T I C（バーチャルTIC）内の「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに提出すること。 ※詳細は「12. V-T I Cについて」を参照（QRコードを記載）。

⑧リレーに出場するチームは、「リレーオーダー用紙」を、招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙はT I Cに置く。

3. アスリートビブスについて

①アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、エントリー時に入力された登録番号で競技者が準備すること。

②800mTR決勝、1500mTR決勝、少B3000m決勝、3000mSC決勝についてはオーダー順の腰ナンバー標識を招集所で配付する。フィニッシュ後に係に返却すること。

③②以外の種目では、①と同じ番号の腰ナンバー標識（縦12cm×横18cm）を準備すること。

④アスリートビブス・腰ナンバー標識の安全ピンは各自で用意すること。

4. トラック競技の抽選および番組編成について

①トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。すべての決勝の組み合わせ（レーン順、試技順）はTR20.4.3～5に従って番組編成員が行う。

5. 競技について

①競技結果については、場内スクリーンに表示し、アナウンスにより発表するとともに、「滋賀陸上競技協会大会結果速報サイト」に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示され、アナウンスされた時点を正式発表とする。

②競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。

③主催者が設置したビデオ記録を用いて、判定を行うこともある。

- ④走高跳・棒高跳の競技前練習は、フリーで足合わせを行った後、競技順に事前に設定された高さで「公式練習2本」とする。
- ⑤男女走幅跳・三段跳の競技前練習は、試技順に跳躍練習2本を行い、その後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。
- ⑥三段跳の踏切板は、砂場から男子13m00、女子10m00の位置に設置する。
- ⑦フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」「踏切確認エリア」を設ける。コーチングはコーチ席からのみ行うこと。
- ⑧フィールド種目における手拍子についてはTOP8以降で最終試技のみとする。高さ種目においては、おおむね3名以内になってからとする。
- ⑨フィールド競技における競技エリア（FOP）内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ⑩フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像を確認するために、コーチ席から録画再生機器等を手に取り、その付近で操作する場合に限り、競技区域への持ち込みを認める。また、メインスタンド前ピットおよびバックスタンド前ピットで実施される跳躍競技において、指定された場所でスタンドのコーチと競技者がタブレットやスマートフォン等を受け渡すことは可能とする。その際に使用する紐や袋等は、各チームで準備すること。受け渡し時には、事故等が発生しないよう十分にコミュニケーションを図り、安全面に最大限配慮すること。万が一事故等が発生した場合、主催者はその責任を負わない。
- ⑪サイドスタンドでは、コーチ席内から録画再生機器等を選手に手渡してもよいが、録画再生終了後すぐにコーチ席内に戻すこと。
- ⑫競技者は、競技役員の許可を得ず、また審判員の同行がない限り、競技進行中に競技場所を離れてはならない。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- ①最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。

走高跳										
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子	1m70、2m00	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	2m00	3cm
女子	1m35、1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	3cm
棒高跳										
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子	3m70、4m50、4m80	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	10cm
女子	2m70、3m30、3m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	10cm

※同記録による1位または近畿選手権の出場を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

※天候等の状況により変更となることもある。

7. 競技用具について

- ①棒高跳用ポールを除き、競技に使用する用具は、競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- ②やり（日本陸連検定品かつWA認証品に限る）の検査を受ける場合は、競技開始の1時間20分前から50分前までに、フィニッシュ側器具へ持参すること。投てき用具には所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。また、WRK対象競技会のため、使用できる用具のリストを確認しておくこと。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ③WA認定品かどうかの証明は、本人がしなくてはならない。（認定シールまたはWAサイト情報にて）

8. 競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ②World Athletics（WA）が承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認をしておくこと。<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
（競技用シューズの承認状況 <https://certcheck.worldathletics.org/>）
- ③靴底の厚さについては、TR5及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- ④使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求めることがある。

9. 表彰について

- ①県選手権種目優勝者（国スポ選考種目は除く）には選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。
- ②結果のアナウンスののち、該当者は直ちに表彰席（エントランスホール）に来ること。

10. 近畿大会の出場権について

- ①本大会8位入賞者の県内登録者上位6名とする。ただし、混成競技は出場希望者の中から公認記録の上位の4名とする（別紙参照）。出場希望者は、大会サイトの近畿選手権大会要項を確認の上、申込〆切期日までに申し込むこと。
- ②今大会中に申し込む場合は、エントランスホールの受付で「個人申込票」に記入し、参加料を添えて申し込むこと。

11. 練習について

- ①本競技場の練習時間帯は2日間とも14:00～15:20とする。
補助競技場の練習時間帯は2日間とも14:15～19:00とする。（トラックの使用に制限あり）
- ②本競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用しでのスピード練習は禁止する。
- ③本競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用した者で準備・片付けをすること。マットおよび踏切板の使用は禁止とする。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場、補助競技場周辺ジョグおよび室内練習場で行うこと。2階・3階スタンド通路、メイン競技場通路や駐車場周辺でのウォーミングアップ（ジョグ、ダッシュ含む）は禁止する。
ばんきっこフィールド1日目…15:50～17:30、2日目…15:50～17:00については、スプリントアタックを実施するため、トラックの使用に制限を設ける。競技終了後、制限を解除する。
- ⑦補助競技場、室内練習場での練習は、競技役員の指示に従うこと。また、室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とする。

12. V-TICについて

- ①「欠場届」と「記録証明書発行届」はV-TIC内の専用フォームから提出すること。
- ②記録証明書は発行手数料500円と引き換えにエントランスホールのTICで手渡す。



13. その他

- ①競技会における怪我の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。
- ②テントの設置は、メインスタンドおよびサイドスタンドでは禁止とする。バックスタンドについては設置を可とするが、風で飛ばないように安全に設置すること。ごみは各自・各チームで持ち帰ることを基本とし、使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に協力すること。
- ③各チームの荷物は、1日目の男子4×100mR終了後に、室内練習場に置くことができる。また、飛ばないようにまとめて、スタンドに置いてよい。
- ④競技場外でのテントの設営を禁止とする。
- ⑤横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりに限る。
- ⑥スマートフォン以外の機器で撮影を行う場合は、エントランスホールのTICにて手続きをし、撮影許可証を受け取ること。許可証は首から下げて携行し、退場時には必ず返却すること。また、大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿することを禁止する。
- ⑦スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示等に従うこと。
- ⑧競技エリア内に、日傘や折りたたみ椅子など、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことはできない。
- ⑨提出書類は下記のとおりとし、すべてTICにて受け取ること。なお、TICはエントランスホールに設置する。

	提出書類	提出先	提出時間
1	多種目同時出場届	招集所（競技者係）	第1種目の招集完了時刻30分前まで
2	欠場届	V-TIC	各種目の招集完了時刻30分前まで
3	リレーオーダー用紙	招集所（競技者係）	各種目出場該当組の招集完了時刻の1時間前まで
4	リレーオーダー変更届	招集所（競技者係）	医務員の署名捺印後、招集完了時刻まで
5	抗議申し立て（口頭）	TIC	正式記録発表後（予選）15分まで（決勝）30分まで
6	上訴申立書（文章） （預託金2万円）	TIC	審判長公式裁定後（予選）15分まで（決勝）30分まで
7	記録証交付願	V-TIC	競技終了後随時

15. WRk・WA競技規則に関する補足

<WA規則が適用される項目>

- (1) 投てき競技は、日本陸連検定品かつWA認証品の投てき物のみ使用できる。(TR32.1)
- (2) 同時申込を含めて、試技時間に競技者が不在の場合はパス扱い(-)とする。(TR4.3)

<WA規則が適用されない項目>

- (1) トラック種目、フィールド種目ともに現場での抗議(競技中の抗議)は認めない(TR8.4.1および8.5は適用しない。)
- (2) 広告・商標については、国内競技会における広告及び展示物に関する規程を適用する。

スプリントアタック(SA) 競技注意事項

上記、滋賀県選手権の競技注意事項に準ずる。

招集について

- ①招集場所はスタート地点とする。
- ②招集開始時刻は、以下のとおりとする。(競技開始時刻を基準とする。)

組	開始	完了
1～ 6	25 分前	15 分前
7～12	15 分前	5 分前
13～18	5 分前	5 分後
19～24	5 分後	10 分後
25～30	10 分後	15 分後
31～38	15 分後	20 分後

- ③競技者は招集完了時刻までに招集場所で競技役員の点検を受けること。

その他

- ・フィニッシュ後は、バックストレート外側を回って戻ること。
スプリントアタック競技中はメイン側の通行を制限します。